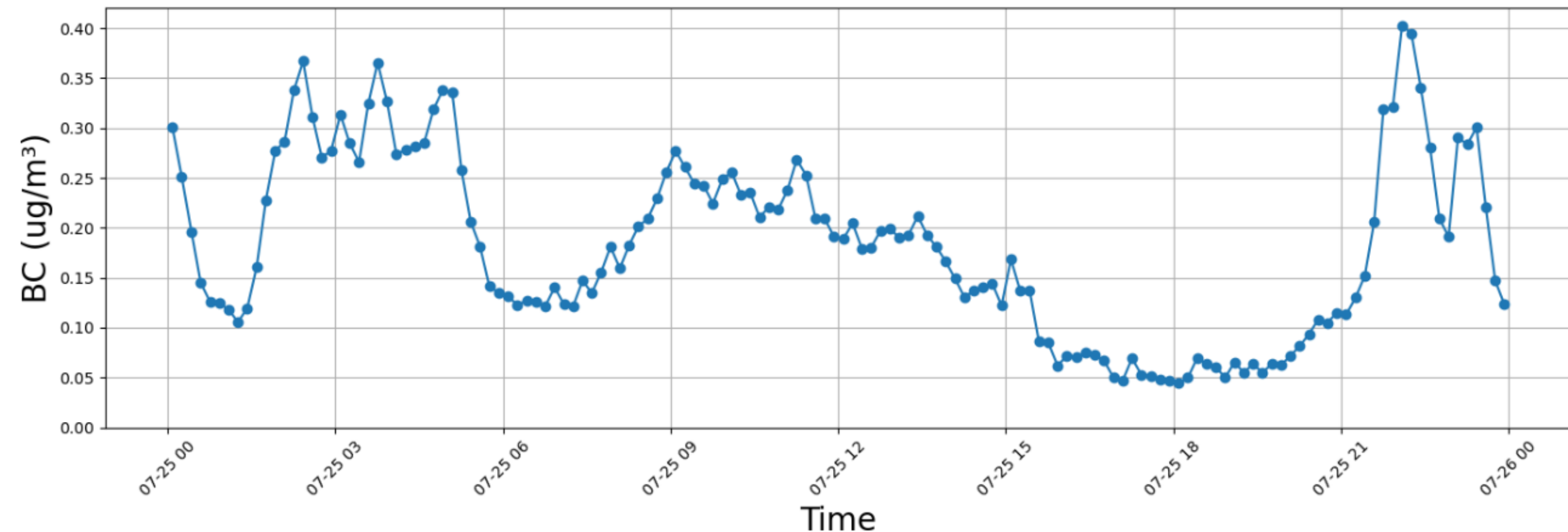


千葉キャンペーン

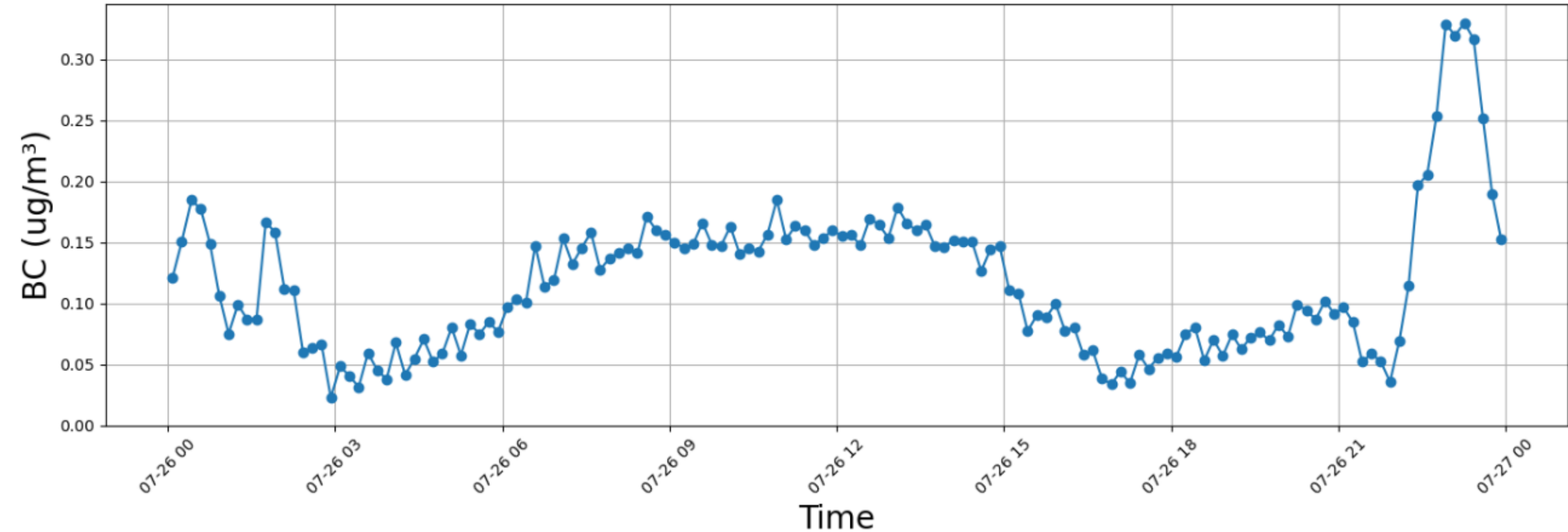
阿部直斗 地球科学科
入江研究室4年

7/25におけるBC濃度日変動



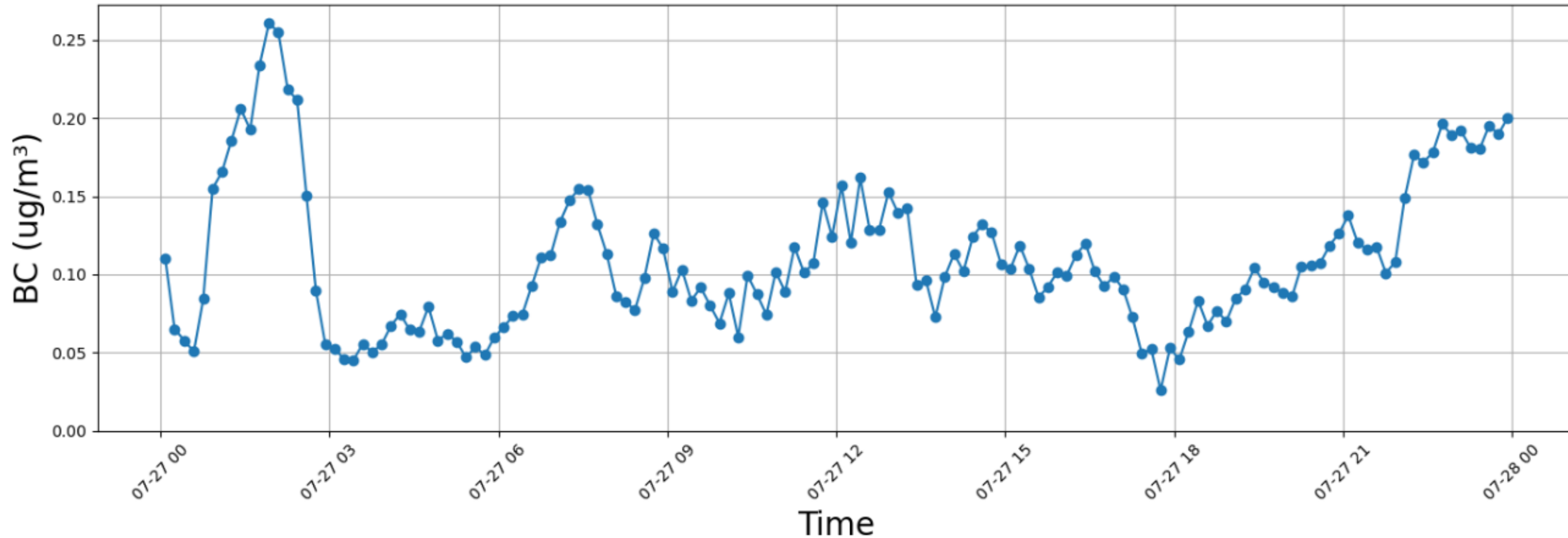
早朝に高く、15時以降にかけて減少して夜に増加する

7/26におけるBC濃度日変動



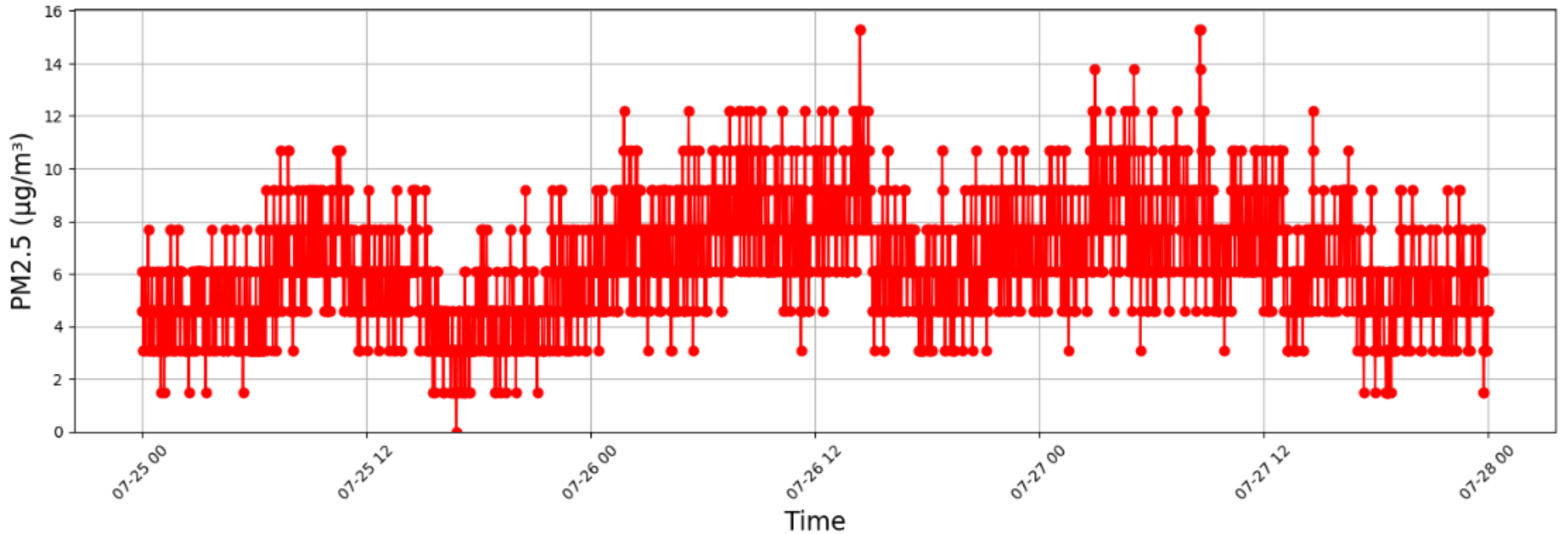
昼間の方が早朝よりも濃度が高くなっている
そして夜が最も濃度が高くなっている

7/27におけるBC濃度日変動



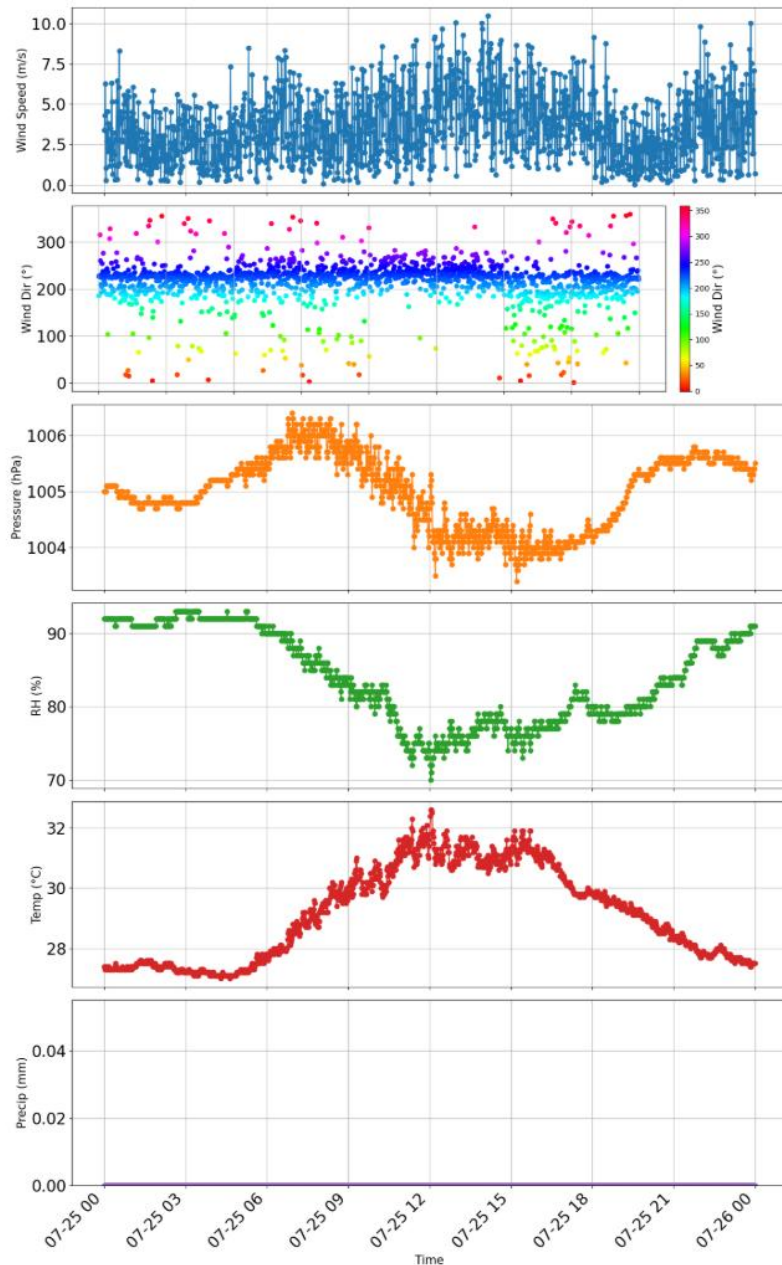
0-3時にかけて濃度が最も高くなっている
昼間は一定の変動をして18時に最も低くなっている
そして夜にかけて濃度が高くなっている

7/25-27におけるPM_{2.5}濃度日変動



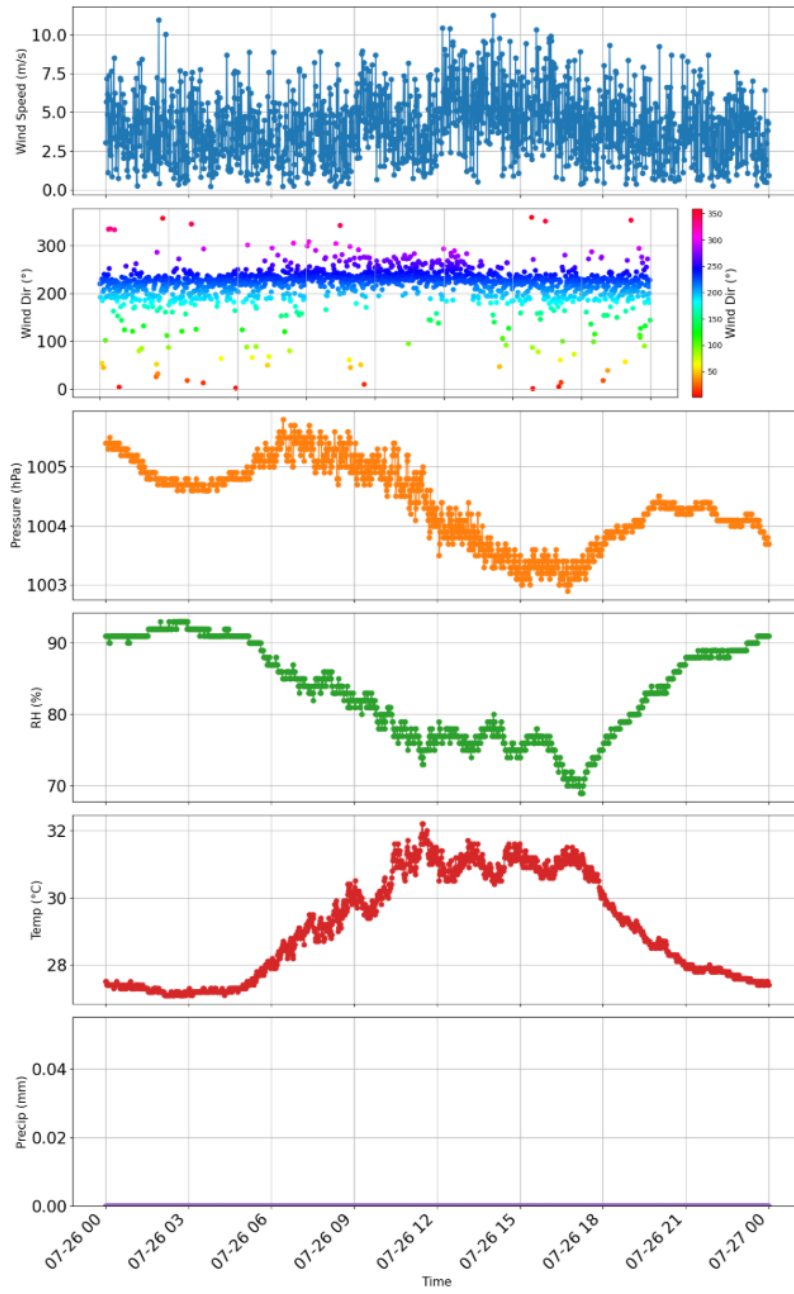
3日間一貫して濃度は昼間にかけて高くなっている
全体的にBCと傾向は異なっていることがわかる

7/25における気象要素の日変動



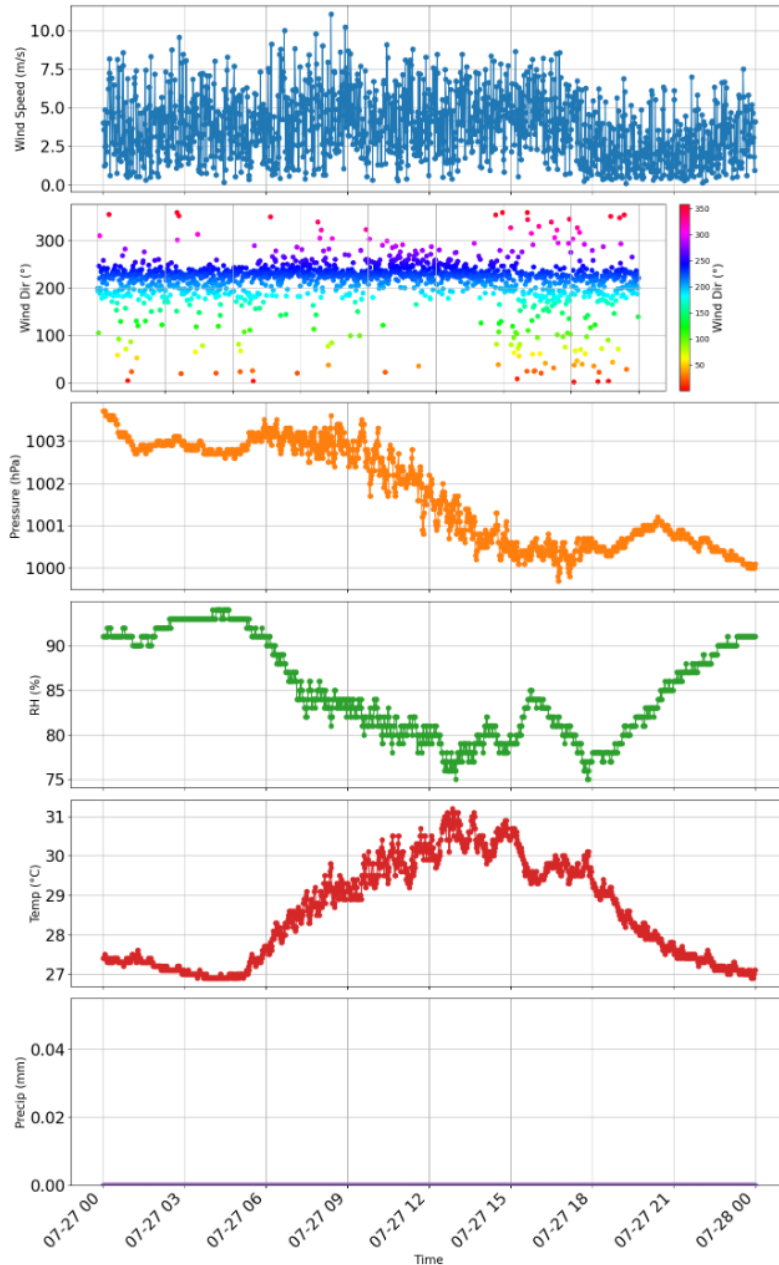
- 風速は昼間にかけて高くなる
- 昼間だけ北東からの風がない
- 気圧は早朝に増加、昼間に減少
- 相対湿度は昼間に最も低い
- 気温は正午ごろで最も高い
- 降水量は常に0であった

7/26における気象要素の日変動



- 風速は昼間にかけて高くなる
- 昼間だけ北東からの風がない
- 気圧は早朝に増加、昼間に減少
- 相対湿度は昼間に最も低い
- 気温は正午ごろで最も高い
- 降水量は常に0であった

7/27における気象要素の日変動



- 風速は早朝の方が高い
- 昼間だけ北東からの風がない
- 気圧は早朝から昼間にかけて減少
- 相対湿度は昼間に最も低い
- 気温は正午ごろで最も高い
- 降水量は常に0であった

まとめ

- ・ 7/25は7/26,27よりも濃度が全体的に高くなっている
→これは平日の方が自動車交通量が多いからでは？
- ・ 7/25,27は典型的な濃度変動となっている
→早朝、夜は自動車交通量の増加、昼間は混合層高度の上昇が要因？
- ・ 7/26の昼間の方が早朝よりも濃度が高い
→昼間の方が早朝よりも自動車交通量が多かったからでは？
- ・ 接地逆転層はこの3日間で特に形成されていなかった
→夏は空気の対流が活発なので形成されにくいのでは？
- ・ 気象要素はこれまでに見られた典型的なパターンとなっている